

創立10周年記念誌



地域と共に歩んで10年

 社会福祉法人 炉 暖 会



社会福祉法人炉暖会 理念：和・創造

わたしたちは、ご利用者様に豊かで和やかな暮らしの提供を目指します。

わたしたちは、地域に根ざした信頼ある福祉の創造を目指します。

わたしたちは、生き生きとした活気と笑顔あふれる施設を目指します。

炉暖会創立10周年を迎えて

社会福祉法人炉暖会 理事長 後藤 政美

社会福祉法人炉暖会は、平成15年に設立致しました。沼津市北部の金岡地域に新たな高齢者福祉を行う必要性に基づいて設立したものです。「特別養護老人ホーム炉暖の郷」「デイサービスセンター」「ショートステイ」「ホームヘルパーセンター」「在宅支援センター」を併設し地域の高齢者福祉拠点としての第一歩を踏み出しました。

以降、静岡県の高齢化率は上昇し現在24.9%で、高齢者人口は10年間で急増し、高齢者の中の高齢化が進行しました。介護施設の充足の要望に応えるべく平成24年4月に30床の増築を行いました。

ここに至る過程において国・県・沼津市には絶大なご指導とご援助を頂き、この10年間安定した運営を基盤に、地域の高齢者福祉の一端を担ってこれることができましたことを

この記念誌上を借りまして衷心より感謝申し上げます。

この10年を振り返りますと、開所当時は介護保険制度施行後3年を経過し、制度も周知され、特養の個室対応のユニットケアが全国に導入され始めたため、ユニット型個室36名、ユニット型多床室34名の定員70名でスタート致しました。

平成18年4月には介護保険の大幅改定がありその中で特に介護予防への舵取りを向け在宅福祉への制度変革が求められました。したがって当法人は施設介護はもとより在宅介護により視点を向け介護及び予防介護という高齢者を継続的に支援するという対応が課せられました。当法人としての理念「和・創造」の姿勢を保ち高齢者福祉に携わることは変わりありませんでした。

今後は少子高齢化で、2025年には100万人の介護者が必要と言われていますが、現在でも不足気味の人材をどうするのか。介護人材確保、南海トラフ地震の防災対策、そして、アベノミクスの第3の矢で示された「規制改革こそ成長戦略」で予想される介護保険制度の改正等々ありますが、炉暖会は今後も個人個人の生き方を尊重しながら、介護の質を高めて支援することを目指します。ここまでの10年間で助走とし、今日またここから踏み出した新たな一歩をステップとしてさらにこれからも走り続け、地域の高齢者福祉のため力を尽くすことをお誓いして法人創立10周年を迎えての挨拶と致します。



社会福祉法人「炉暖会」の創立10周年の慶事を迎えて

沼津市長 栗原 裕康

社会福祉法人「炉暖会」が創立10周年の慶事を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

わが国は急速に高齢化がすすみ、これまで以上に高齢者福祉の重要性が高まることが予測されております。

本市では、第4次沼津市総合計画や、第6次沼津市高齢者保健福祉計画により、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、現在、様々な施策を展開しております。

このようななか、貴会は平成15年8月15日開設の特別養護老人ホーム「炉暖の郷」のほか、ショートステイやデイサービス、ホームヘルプサービス、居宅介護支援事業所といった各種在宅介護サービスを提供するとともに、地域住民を対象とした「車椅子の取り扱い講座」や「介護体験講座」にも積極的に取り組んでこられるなど、高齢者福祉はもとより、地域福祉の推進にもご尽力いただいていることは、誠に心強く、感謝申し上げる次第です。

今後も、地域住民と連携を図るとともに、地域における高齢者福祉の中心的な施設として、より一層の充実に向け、更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展と、職員の皆様方の一層のご活躍とご健勝を心から祈念いたしまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。



10周年に寄せる

前理事長 勝呂 衛

炉暖の郷開設10周年おめでとうございます。

開設・開所当初から携わっていたものの一人として感慨深いものがあります。後藤理事長をはじめとし周囲の方々が提供して下さったとはいえ獣道の第2東名の工事車両の通行路の脇に施設等が造れるのかと心配したものでした。またこんな山奥に入ってくる人等がいるのかとも心配致しました。

私が先に手がけた介護老人保健施設はバス停から徒歩3分に位置していたのでご利用者・ご家族の方々の利便性は非常によく喜ばれたことが印象にありました。私も週2回往診していますが正直遠く感じます。

この不便な点をカバーし他の施設に負けない事をするには、炉暖でなければの大きな特徴が必要と考えておりました。それには働いている人々の温かい笑顔、きびきびした態度、親切なふれあい、日本人独特のおもてなしの心が必要だと思っておりました。

今、開設後10年を迎えてみますと職員の方々は自然にこれらのことが出来ているなど感じております。又、ご利用されている方々、ご家族の方々にも理解され受け入れられ良い関係を保っているなどと思います。各部門の責任者の力ではなく職員の方々の能力でしょう。大変うれしく心強く思います。

今後、介護保険・福祉事業を取り巻く環境は厳しいものになると予測されます。利用者の方から施設を選択する時代になります。10年を一通過点として20年後、30年後を見据えて今以上に温かく親切な笑顔を忘れずにご利用者の方々と接してくれる事を祈念しお祝いの言葉と致します。

炬暖会の提供するサービス

特別養護老人ホーム炬暖の郷 (定員100名)
個室型ユニットケア66名 2人室/3人室型ユニットケア34名
(2人部屋14室/3人部屋2室)



生き生きとした活気と



ショートステイ<短期入所介護サービス>
従来型個室16室 2人部屋2室

笑顔あふれる



「あふれる笑顔・心地よい空間・思いやりの心」を目指します。

デイサービスセンター 炉暖の郷

通所介護（含、通所介護予防）：30名

生きがいデイサービス：数名



地域に根差した

出会い、語り合い、支えあう
お仲間作りを私たちは応援します。



居宅サービス事業 訪問介護 居宅介護支援事業 炉暖の郷



私たち、ケアマネージャーは、
お一人お一人を大切に、ご相談を
お受けいたします。

信頼ある福祉の創造



炉暖会のイベント

夏祭り

毎年 8 月に行われる炉暖会最大のイベント
夏まつりはご利用者、ご家族、地域の人々、
ボランティアさんなどが参加され盛大に行われ
ます。

炉暖会の太鼓部、フラダンス部の熱演が皆
さんの楽しみの一つでもあります。



敬老会

敬老会は毎年あしたか保育園の園児さんたち
に訪問して頂いております。

ご利用者様もたいへん楽しみにしています。

文化祭

11 月に行われる文化祭は職員とご利用
者様とご家族で行われ、それぞれのこ
だわりの演技をご披露して頂き楽しいひと
ときを過ごします。



もちつき

年末の大仕事、みんなで鏡餅づくりです。
歳時に合わせた年の暮れの行事です。



四季折々の生活から

居酒屋会



七夕見物



あじさい見学



バス遠足



ボランティアさん

関東学生フォルクローレ音楽隊



三味線演奏 糸の会



施設の動き

防災訓練



介護教室



慰霊祭



入職式



ボウリング大会



施設内研修



職員 浅草旅行



ロダンの郷 活動の歩み (沿革)

2003年 (H15)

- 1月 社会福祉法人炉暖会認可 理事長 勝呂衛
- 7月 特別養護老人ホーム炉暖の郷 竣工式
- 8月 特別養護老人ホーム炉暖の郷施設開設

2004年 (H16)

- 第1回夏祭り開催

2005年 (H17)

- 9月 第1回職員旅行 (愛知博)
- 10月 第1回炉暖の郷文化祭
 デイサービス6~8時間体制および土・祭日実施へ移行



2006年 (H18)

- 1月 炉暖の郷機関紙創刊号発刊
- 9月 第2回職員旅行 (東京ディズニーシー)

2007年 (H19)

- 8月 第三者評価調査実施
- 9月 職員旅行 (東京)
- 10月 特養サファリパーク遠足



2008年 (H20)

- 5月 炉暖会理事長 勝呂衛退任
 新理事長 後藤政美就任
- 9月 職員旅行 (鎌倉)

2009年 (H21)

- 8月 静岡県高齢者福祉研究大会・接遇委員会発表

2010年 (H22)

- 4月 新棟計画・新棟建設プロジェクト開催

2011年 (H23)

- 3月 計画停電実施
- 7月 新棟工事着手



2012年 (H24)

- 4月 新棟開所
 特養100床に増床

- 8月 非常用発電機設置
 第1回静岡県福祉広報誌コンテストで最優秀賞受賞

2013年 (H25)

- 9月 10周年記念式典開催



4月介護報酬改定

4月介護保険法改定

・原油高で国内混乱

民主党政権発足

3月 東日本大震災
 福島第一原子力発電所事故
 計画停電

自民政権発足

炉暖の郷 10周年を迎えて



副施設長 市川 満

「ご利用者に豊かで和やかな暮らしの提供を目指したい」と大きな理想に燃え愛鷹山の地に『和・創造』の理念を掲げて「炉暖の郷」を設立し10周年を迎えることとなりました。

地域の福祉向上を願い、各界の皆さまの協力と援助に支えられて今日まで歩んでくる事が出来たのも、地域の方々をはじめご利用者様やご家族のご理解・ご支援いただいたボランティアや大勢の皆様のご協力のお陰であると心より感謝いたします。

昨年度は入所希望者の待機を改善したいとの思いから、ユニット型特養を30床増床し、100床の特養施設とすることが出来ました。

今後さらに進む高齢化社会に向け、対応出来る施設運営を職員一丸となって推進し地域に根ざした信頼ある施設の創造をめざし努力をしていくことをお誓いし、お礼の言葉とさせていただきます。



介護サービス部長 高橋 新吉

10年を振り返ると、炉暖の郷の運営指針「ご利用者に豊かで和やかな暮らしの提供を目指す。」「地域に根ざした信頼ある福祉の創造を目指す。」「生き生きとした活気と笑顔あふれる施設を目指す。」を実現してこれたか反省しています。今後も日本の社会保障制度は不透明感を増していきそうですが、社会福祉施設であると云う自負の念を持って進んでいきたいと思えます。



業務科長 鈴木 美雪

創立10周年おめでとうございます。

晴れの日はもちろん、雨の日も風の日も乗り越えて今日を迎えることができたのは、仲間がいてくれたおかげ・・・。

今日もそばで支えてくれる仲間、そして今は遠くで頑張る仲間に、心からありがとう。

私はこれからもここで頑張ります。



在宅支援科長 上野 早苗

10年前、高齢者の方々に関わりたく、炉暖で初めて介護の仕事に就きました。関わった職員の方々、利用者様方に教えられ、支えられた10年です。利用者様には笑顔、そして一期一会を念頭に、職員の方々には器の大きい人間としてこれから接していくよう努力して行きたいと思えます。10年やってもまだまだ足りない、奥の深い仕事です、でもここ炉暖で仕事出来る事を、誇りに幸せに思えます。



特養ホーム主任 杉山 雄臣

10年を振り返って思い返せば、一言に尽きると思えます。まさに激動の一言に。色々な事がありすぎてほんとうにあっという間でした。

その中でも思い出深いことと言えばやはり新棟の開設だと思えます。何年も前から皆で話し合いをし、期待と不安の中でオープンしました。今となっては何度も話し合いを重ねた事がいい思い出になっています。



特養ホーム主任 鈴木のり子

10年も経てば世の中の介護も変わり、それに伴い炉暖の郷も変わってきました。

その中でも入浴は劇的に変わりました。昔は洗身担当・着脱担当と分かれ流れ作業で行っていました。今ではマンツーマン入浴になりゆとりが生まれ待たせる事なく、ゆっくり利用者様に入浴を楽しんでもらっています。現在も更なる向上に向かって検討しています。

これからも“利用者様の生活の場”を前提にチーム一丸となり邁進していきたいと考えています。



ショートステイ主任 荒木 和江

長いようであっという間。10才も歳を取ってしまった(泣)その間、いろんな部所を経験させて頂き、様々な利用者様との出会いもあり、色々教えて頂き自分なりに成長出来たかな?と思えます。仕事をしている中でジレンマする事もいっぱいありますが、利用者様が笑顔で「ありがとう」と言って下さると、とても嬉しくやがいが感じます。辛い事も多々ありますが、毎日楽しく仕事しています。



デイサービス副主任 榎木澤一哉

まずは、開設10周年、誠にありがとうございます。

10年を振り返る際、まず思い浮かべるのは「仲間」との日々。

厳しい仲間、優しい仲間、ユニークで楽しい仲間、自分にはない奇抜なアイデアを持った仲間…。自分も、そして炉暖の郷も、そんな仲間達に支えられた10年だったと思われまます。新たな10年、仲間と一つになれる介護を目指していけたら幸せです。



特養ホーム生活相談員 勝又 涼江

もう10年経ったんだ。これが率直な感想である。10年前真新しい建物で、初めての入所者を迎え入れたことは今でも鮮明に覚えている。何もかもが夢中で試行錯誤であったが、とても充実した日々であった。仲間との別れ、また新しい出会いがあり10年が過ぎた。私も介護職から始まり、相談員・ケアマネと職種は変わってきたが、10年勤続できたことは仲間がいたからだ。よき仲間と共にここまでこれたことを幸せに思う。『感謝』この一言に尽きる。



特養ホームユニット長 鈴木 浩恵

炉暖の郷で赤いジャージを履いているのは私だけだと思います。
何年前かに何気に履いた赤いジャージでしたがある日赤いジャージを履いていない日に、お一人のご利用者様からこう言われました。「あちゃん今日は何で赤じゃあないんだ！やっぱり赤がいいよ。元気が出る。」又、目のご不自由な利用者様でも私が近くに行くと「来たね赤いパンツ」と言って下さります。そんな事があってから私は赤いジャージでいつも働く様になりました。これからも赤いジャージで元気に働いていきます。



特養ホームユニット長 渡邊 由紀

10年を振り返って、たくさんのお出会いと別れがあり、心温まる体験も数知れません。
特に、まだ慣れない、開所当時にお世話になった利用者様方のことは印象深く、感謝の気持ちでいっぱいです。家族よりずっと長い時を過ごし、共に生活し、共に生き、そばに居て見ているだけしかできませんが、いろいろなことを学ばせて頂いております。
共に過ごさせて頂いた10年の時間こそが、今の私の宝物になっているような気がします。



ショートステイ介護職 依田 幸子

10年を振り返って色々な人と出合っ、別れてと色々な事たくさんありました。私自身も大きく成長しました。はじめは、実母の介護の為に、2、3年が10年に、もう少しで定年退職です。人生のアルバムで炉暖の郷のページが一番多くなってこれからはまだまだふえつづけてます。

10年間色々思い出起こすと一冊の本にもなりそうです。今は1ページ、1ページめくって、おもしろいにひたっています。



居宅支援事業所ケアマネージャー 水口まどか

ガッツだぜ！パワフル全開!!の心意気で、常日頃過ごす様にしている。元々性格も、こんな感じなのだろうが、そうでないと気持ちが沈んだ時には中々立ち直れないからだ。仕事も常に前向きで挑んでいる。つまらなかったり辛い事は、楽しい事や嬉しい事にすり替えて、モチベーションを高め、心の撃沈を回避する。これからもパワフル魂で、元気良く何事にもチャレンジしていきたい。



居宅支援事業所ケアマネージャー 上迫小百合

「元気があれば、何でも出来る。」
「元気ですか。」

10年、勤務ができた自分をほめたい。

10年、共に過ごしてきた炉暖の郷と仲間へ感謝しています。仲間の励ましや応援に支えられ今があると実感しています。

「ありがとうございます。」
これからも、元気で、お仕事頑張ります。



訪問介護介護職 入月 真実

10年を振り返って…10年前と今の生活の大きな変化の中で仕事をして来てたくさんの職員、利用者様と関わらせて頂きました。その中で利用者様個人に関わる難しさを常に感じる毎日でした。利用者様は皆さん一緒でなく、自分、私を見てほしいんだという気持ちをヒシヒシと感じました。現在の職場は経験のない所で最近やっと慣れ、流れも分かって来てやりがいと楽しさを感じ始めています。利用者様にとっての生きがい、生活の糧を見いだせる様な介護をしていきたいです。



特養ホーム介護職 黒埼 貴幸

もうそんなに経つんですね。振り返ると本当に色々な事があったなと思ひ出します。施設を立ち上げたばかりの頃が特に印象に残っていますね。オープン直前に体調を崩してしまい入院した事や、デイサービスで一番最初の利用者様が来てくれたときの嬉しさ。全てのことが手探り状態で大変だったけれど、とても新鮮な気持ちでした。これからもその気持ちを持ち続けていきたいと思ひます。



特養ホーム介護職 窪田志都子

子供が、一才になる頃より働き始め、子育てと仕事の両立をしながらでしたが、「家族の協力と理解」そしてなにより、「職場環境」が良かったので、長く働く事ができたと感じます。

私自身も10年と言う節目を迎えましたが、初心を忘れずに、ご利用者様の「担い手」になれるよう勤めていきたいと思ひます。



看護師 小野 深雪

あっという間に10年という年月が、過ぎて行ったように思われます。ここまで勤めてこれたのも、職場の皆様の協力のおかげと感謝しています。これからもよろしくお願ひします。



デイサービス介護職 海瀬富美子

様々な場面が浮かんできます。ただ一言、「感謝」の言葉に尽きます。関わったすべての方々、利用者様を含めてお礼申し上げたいと思ひます。

初めて介護の仕事にふれて、何げない日常に喜びやまた悲しみがありました。50才過ぎてからの仕事でしたが、私では、孫に恵まれ、還暦を迎え、今も元気に働いています。炉暖の郷の益々のご発展ご祈念致します。



特別養護老人ホーム 炉暖の郷

〒410-0001 沼津市足高字尾上24-24 TEL 055-927-3939 FAX 055-922-0889
<http://www.rodankai.com>